

製品名: WTAP ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe85137

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,IP |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:10-1:20 |
| 分子量 | Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 55 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | WTAP |
| 別名 | hFL(2)D; WT1-associated protein; Wilms tumor 1-associating protein; Pre-mRNA-splicing regulator WTAP |
| 遺伝子 ID | 9589.0 |
| SwissProt ID | Q15007 |
| 免疫原 | ヒト WTAP の組み換えタンパク質 |

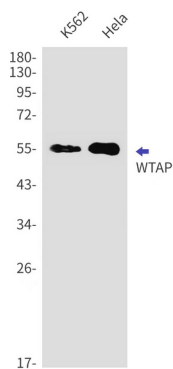
背景

ウィルムス腫瘍抑制遺伝子 WT1 は、特定の細胞遺伝子の転写および転写後制御の両方に関与していると考えられています。この遺伝子は、普遍的に発現する核タンパク質である WT1 関連タンパク質をコードしています。WT1 タンパク質と同様に、このタンパク質は核質全体およびスペckルに局在し、部分的にスプライシング因子と共局在します。この遺伝子の選択的スプライシングにより、3つの異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じます。

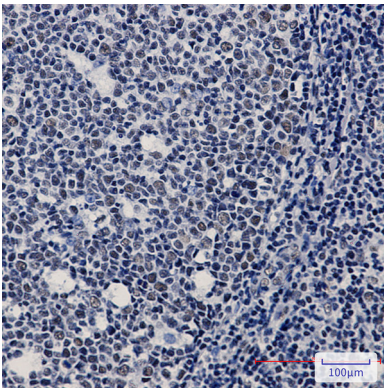
研究分野

-

画像データ



WTAP 抗体を使用した K562、Hela 溶解物中の WTAP のウェスタンブロット分析。



WTAP 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。